

## 会 議 録

会 議 名		第5回かわにし創生総合戦略推進会議		
事 務 局 (担当課)		総合政策部政策創造課		
開 催 日 時		令和元年11月6日(水)		
開 催 場 所		市役所4階 庁議室		
出 席 者	委 員	伊藤 伸 委員、上村 敏之 委員、片山 優子 委員、 城南 雅一 委員、福嶋 浩彦 委員、三坂 友章 委員、 山本 利映 委員		
	そ の 他			
	事 務 局	松木総合政策部長、船木総合政策副部長、的場政策創造課長、 野田政策創造課長補佐、中村、富永、名塩、尋田		
傍聴の可否		可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由				
会 議 次 第		1.開会 2.議事 3.閉会		
会 議 結 課		別紙審議経過のとおり		

## 審議経過

発言者	発言内容等
事務局	<p>お時間になりましたので、ただいまより第5回かわにし創生総合戦略推進会議を開会させていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、本日はご多忙にも関わらずお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の議題は「市民会議からの提案内容の報告」「総合戦略素案の協議」となっております。本日も活発なご議論をいただければと存じますので、どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは福島会長、議事の進行をよろしくお願いいいたします。</p>
福島会長	<p>はい、それではどうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>ではまず、前回の積み残しですが、「市民会議からの提案内容の報告」ということで、各班共通の提案について、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>よろしくお願いいいたします。</p> <p>全班からの提案について、前回お配りした提案書をもとに事務局から説明させていただきます。</p> <p>こちらは主に各階の市民会議終了後に記入されている改善提案シートの内容で共通しているものをまとめたものです。</p> <p>2ページ目をご覧ください。</p> <p>提案1について。「川西市といえば」といった象徴をつくることで、川西への愛着が深めるのではないかという提案です。前回の会議でも各班の発表で、川西市にはこんな魅力があるといった発言をしていただいておりますが、この中では区画整理で新しくできキセラの町を象徴として打ち出しではどうかといった提案がございました。</p> <p>順番が前後しますが、8ページの提案5については病院等について改善提案シートで出た意見をまとめております。</p> <p>ここから4ページについて説明させていただきますが、提案のあとの残りの2、3、4については、情報や魅力の発信についての提案になります。</p> <p>4の提案の2つ目は川西市のめざす方向性や進行中の事業についてわかりやすく示し共有してはどうかといった提案になります。</p> <p>5ページ目の提案3につきましては、市民向けの情報発信の提案になります。</p> <p>前回の推進会議で発表していただいた提案の中にも情報発信の話は多く出ておりましたが、市民会議では初めて知った情報があるといった意見がありました。情報の受け取り方は大きく変わっているため、情報の発信の改善をアンケートで受け付け、来年やSNSを通じて活用して情報発信をしてはどうかといった意見がございました。</p> <p>7ページの提案要望については市外向けの情報発信の提案になります。市外向けの情報発信はSNSや口コミ紙媒体など様々な媒体を用いて情報発信を行うべきといった提案がございました。</p> <p>事務局からの説明は以上になります。</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	はい、ありがとうございます。 それでは皆さんからご質問、ご意見あったらお願いします。
上村委員	<p>前回は情報発信については話がありました。特に、こんな情報があったということが市民会議に参加して初めてわかったというのは、やはり行政として情報発信のあり方を考え直すきっかけにしないといけないと思います。ただ、こういった話が出るのはとてもいいことですが、SNSも今はインスタではなくてTik Tokとか新しいものが出てきて、時代をフォローしないといけません。また、SNSによっても世代が結構分かれているようですので、行政側が最新のツールを使いこなさないという状況があります。どの年齢層がこういったSNSを利用しているのかを見ながら、どのようにSNSを使うのかは考える必要があります。</p> <p>もう一つは情報を発信します、してくださいというのは良いですが、発信して、何を期待するかということが大事です。それから、どういうリアクションを期待するのか、本当に伝わっているのかということ、どうやって測定するのかというところで積み残しがあると思います。</p> <p>問題意識として、情報が伝わっていないということに対して、こうしましょうと提案するのは良いですが、それをどう確認するかということまで、行政が課されている課題なのかなという気がしました。</p>
福嶋会長	はい、ありがとうございます。 その辺の議論は市民会議で関連するものでありますかね。
事務局	SNSの世代というわけではないですけども、外向けに様々なツールで発信するという話が出たときに、やはり高齢者の方は使いこなすことができないので、紙媒体は残していただきたいという話は市民会議からありました。
福嶋会長	紙媒体とSNSということですね。SNSの中にもいろいろありますが、フェイスブックはすでにもうおじさんお婆さんのツールっていう話ですし。発信を丁寧にとってお話だったということですね。
上村委員	あとは、伝わっているかをどうやって確認するのかということですね。そこが一つ課題という気がします。確認というのはあまり議論に出てきていないですか。
事務局	そこまでの議論はありませんでした。
福嶋会長	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>最後のページで、「婚活イベントでカップルが成立したら家をプレゼント」という豪華な話が出ていますね。提案は「子育てと医療に対する満足度を高める工夫をする」ですよね。具体的な婚活イベントで、家をプレゼントするのは、どう繋がっているのか説明してください。カップルに家をプレゼントすると子育てと医療に対する満足度が高まるというのは、普通に考えるとつながるようで繋がらないのではないのでしょうか。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>こちらの内容は、市議会議の中で議論があったものをまとめているものではなく、市民会議の後で書いていただいた改善提案シートの中で合致するものをまとめたものです。テーマと中身が子育てというところで関連するため、記載されました。</p>
福嶋会長	<p>あんまり合致していない気がしますが、わかりました。 ほかにはいかがでしょうか。 総合戦略の素案の議論を本日はじっくりやりたいと思いますので、一応各班共通の市民会議からの提案はこれまでにしておきます。 続いて、総合戦略の素案についてです。全部一気にやると、話があちらこちらにいくので、まず1章の「総合戦略の策定にあたって」の説明をしていただきながら、2章のデータを併せて見てください。なにかそこで質問や議論があれば一緒に出していただければと思います。 3章が総合戦略の中身だと思います。4つの重点政策があるので、1つずつ議論をしていきたいと思います。そのような進め方で良いでしょうか。 では、まず第1章の「総合戦略策定にあたって」のご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは私のほうから第1章「総合戦略の策定にあたって」をご説明させていただきます。 まず1番目、総合戦略策定の趣旨ということで、第5次総合計画の内容を書いております。以前の審議会でも、総合計画と総合戦略の違いについて議論がありましたので、ここに記載させていただいております。 2段落目でございますが、「今後も総合計画に基づき、市民生活に関わる様々な施策に取り組んでいきますが」というふうに書かせていただいております。市民の方、或いは計画を見られた方が、この重点戦略だけを進めていくのではなく、あくまでも総合計画に基づいた施策は実施していくけれども、より重点的にしていく重要な施策を明らかにして集中的にやっていく、それが総力総合戦略であるとわかるような内容をここに書かせていただいております。 3段落目のところは、総合戦略は総合計画と各個別計画との整合を図って計画策定するだけではなく、実際に事業を実施して成果につなげていきたいという内容をここで書かせていただいております。 2番目は、第2次総合戦略の策定プロセスでございます。これは第1次総合戦略とは大きく変わった部分でございますので、こういう形で記載しております。まず、今回の第2次総合戦略の策定では、1段落目の最後に、市民同士の議論、或いは市民からの意見を大切にしてきたということを書かせていただいております。 具体的には、2段落目でございますが、無作為抽出によって行ってきたかわにし市民会議の開催についても書いております。その中で市民自らが将来のまちのありたい姿をとともに考えるという過程を重視し、一緒に策定してきたという内容にしております。 今回の計画策定だけに関わっていただくということが目標ではなく、市民会議に参加いただいた方も含めて、これからのまちづくりは、協働によるま</p>

発言者	発言内容等
	<p>ちづくりを進めていきたいということで書いております。</p> <p>3番目でございますが、第2次総合戦略の基本的な考え方を二つ書かせていただいております。</p> <p>まずひとつは、「みんなが当たり前の幸せを実感できるまちをめざして」ということで、幸せというのはいろんな価値観があるかと思えます。それも踏まえて、何気ない日常に幸せを感じて生活できる部分をベースにしたいということで書かせていただいております。</p> <p>第2次総合戦略では、市民の誰もが安心して暮らせる環境を整えると、市民の皆さんが川西市に愛着を持ってもらえるという点に主眼を置きたいということで書かせていただいております。</p> <p>これまでに、人口が減少する中で例えば転入に重点を置くのかどうかといった議論もございましたが、我々としては本市で暮らす市民の幸せをまず大切にしたいと思っています。住み続けてもらえることが、ひいては結果的には人口減少に繋がると考えております。</p> <p>それから、住民の方々が住みやすい場所が少ないと感じている状況については、結果として訪れた方が住んでみたいというところに繋がってくるのではないかと考えております。ですので、その基本的な考え方のひとつとして、市民が愛着を持ち、ずっと住んでいたいと思えるまちづくりをめざしていきたいということを書かせていただいております。</p> <p>次に、2番目でございますが、川西市のよさを大切にしたいまちづくりということで書いております。</p> <p>これまでも議論がございましたが、住宅都市として発展してきたことと併せて、まちづくりについても様々な担い手の方々との活動によって、本市が発展してきたという経過がございます。</p> <p>ただ、これからはコミュニティや自治会だけではなく、人と人との繋がりで、人を大切するという意味合いでは、例えば子育てのつながり、或いはボランティアの繋がりと、色んなシーンで生まれる繋がりを大切にできるようなまちにしていきたいということで書かせていただいております。</p> <p>一方で、いろんな地域課題、或いはまちの発展に向けては、川西市は北から南までいろいろな特性を持っておりますので、特性に応じて先端技術であるとか、或いは民間事業者との連携を図りながら、新たな発想による取り組みを進めていく必要があると考えております。</p> <p>こちらでは、市民の皆さんの力であるとか、或いは市が持っている資源である文化・歴史も大切にしながら、市民の皆様とまちづくりを進めていきたいというところを二つ目に書かしていただいております。</p> <p>計画期間は総合計画と合わせ、3年間の計画と記載しております。</p> <p>総合戦略策定にあたっての説明は以上でございます。</p>
福嶋会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>まず第1章について。データによっては2章も含めていただいてもかまいません。ご質問、ご意見あればお願いします。</p>
三坂委員	<p>質問させていただきます。</p> <p>「(1)みんなが当たり前の幸せを実感できるまちをめざして」の中で、住</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>み続けてもらえることが、結果としてゆるやかな人口減少に繋がるものと考えていますということですが、8ページの(5)出生死亡数の推移のデータを見ると、生まれた人から亡くなった人を引いた数は平成30年は-605名と大きく減っています。ということは、黙っていたら緩やかな減少ではなく、相当大きな現象だと思えます。そのあたりはいかがですか。矛盾していると思えます。事務局の考えを教えてください。</p> <p>確かに出生数と死亡数の推移を見ますと、かなり差が出てきている状況でございます。</p> <p>一方で、7ページの左側、転入転出数の状況でございますが、こちら0歳から9歳の方の転入というのが多くなっています。川西市で出生してもらうことも。もちろん大事ではあると考えておりますが、これらの傾向を見ると市外で子どもが生まれて、これから子育てする、あるいは長年住むという状況で、川西市を選択いただいている方もおられるようです。川西市としては、もちろん出生数も大事ですが、よりこういった子育て世帯の方々が転入してもらえるようなまちづくりを進めたほうがいいのではないかと、今のところ考えております。</p>
福嶋会長	<p>死亡と出生の差はあるけれども、逆に小さいお子さんを連れた世帯、或いはこれから産む子育て世代が入ってきているということもあるということですね。</p>
三坂委員	<p>人口の推移は、転入転出の社会増減と、出生死亡の自然増減と2つありますが、今のは入り混じった表記になっている。</p> <p>人口を増やすような努力をして、緩やかな人口減少に繋がるという文章を考えたほうがいいのかと思います。</p>
上村委員	<p>おそらく、この文章のわかりにくさというのは、このままだと人口がすごく減少する可能性があるというのが大前提になっていて、そうじゃなくて住み続けてもらえることによって緩やかな人口減少をめざしましょうっていうところが、この文章の読み方ですね。ただ、その「緩やかな人口減少」というところが、実は目標になっているところにこの文章の読みにくさがあると思えます。私が書くのであれば、「緩やかに」は取って、「人口減少の抑制」にした方がわかりやすいと思えます。これは意見です。</p>
福嶋会長	<p>「緩やか」というのは、どこまでが緩やかなのでしょうか。住み続けてもらえれば、人口減少の抑制には繋がるというご意見ですね。</p>
上村委員	<p>質問ですが、こちらは誰に向けて書いているのでしょうか。誰が読むのかということと、どういう媒体を通じて、その方に届けようとしているのかということをお教えいただけますか。</p>
事務局	<p>まず「誰に」というのは、市民の方です「どのように」というのは、そこが今この総合戦略で後でも出てきますが、市の計画や行政サービスをどのよ</p>

発言者	発言内容等
上村委員	<p>うにお伝えすればいいのかが課題になっております。情報発信や共有は戦略の中でも検討する必要があると考えております。</p> <p>要は市民向けで、市民に対してわかりやすい表現をしないといけないということですね。媒体については、今後考えるということですね。わかりました。</p>
城南委員	<p>「当たり前の幸せ」という部分ですが、幸せの定義というのは難しいと思います。そこをどういった解釈もできるような曖昧な形で総合戦略の基本的な考え方を進めていくのか、川西市が考える当たり前の幸せとはこういうものだ、ということを確認にして、みんなでめざしましょうということを進めていくのか、どちらにするかでできあがるものが違ってくるのではないかと思います。</p> <p>それから2点目は。基本的な考え方として、(1)と(2)の二つありますが、これは並列なのでしょうか。それとも、(1)の最後に「各施策を進めていくこととします」という一文が記載されており、(2)に(1)よりは、具体的な内容が書かれているように読めるので、(2)の施策を進めていけば、(1)の当たり前の幸せが実感できるまちに繋がっていくと受けとめたらいいのでしょうか。そこを聞かせていただきたいです。</p>
事務局	<p>まず、「当たり前の幸せ」については、城南委員におっしゃっていただいたように、これは各個人によって考え方や捉え方が違うと考えております。ご質問いただいた、「川西市はこういうことが幸せだよね」というところは示さない、含んでないという前提にはしております。</p> <p>ただ、色んな方々が日常生活を送る中で、色んな考え方がある中でも、市民の皆さんが幸せに過ごしていただけるための政策を、総合戦略で策として進めていきたいということで書かしていただいております。</p> <p>(1)が大きい概念的な目標になっていることに対して、(2)は具体的な部分になっています。これをめざすための取り組み方、川西市のいわゆる特徴、良さを前提にしたまちづくりをしたい、最終的に(1)のところをめざしたいという形になっているのは事実でございます。</p>
伊藤副会長	<p>今の場さんがおっしゃったことのほうが記載されているものよりもわかりやすいと思います。「当たり前の幸せとは何か、それは何気ない日常に幸せを感じ笑顔で生活ができることだと考える」というのは、その幸せが何かという定義を書いているように見えます。でも実際には定義とも言えません。今おっしゃったような、「幸せは人それぞれ違うが、みんなが幸せに感じられるようなまちをめざす」という方がストレートではないかなと思いました。</p>
事務局	<p>そうですね。我々が勝手に「笑顔で」というのはなかなか難しいですね。我々がイメージする部分と本来求めている部分が文章として合致しないため、検討させてください。</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	<p>当たり前の幸せとは何かで、「こう考えます」と言うと、行政が当たり前の幸せの中身を言っていることになります。</p> <p>おそらく、行政にそんなこと言われたくないという人もいないではないでしょうか。退屈な日常がいやでハラハラするような刺激的な生活に幸せを感じる人もいてもいいわけです。</p> <p>書き方としては、色んな幸せをみんながそれぞれ求めるから、それをちゃんと実現をできるベースを作ろう、そのベースは何かという話だと思いません。</p> <p>或いは、ハラハラドキドキしたい人はもちろんいいし、そういうものを求めてもいいけども、ベースとして何気ない日常の幸せを実感できるまちをめざします、というのも行政としてはありだと思います。行政としては「住宅都市だから、何気ない日常の幸せをめざすんです」とよ。その上で、ハラハラをめざす人がいるという話なのか、どっちなのかを考えないといけないなって今の議論を聞いていて思ったのですが、どうですかね。</p>
伊藤副会長	<p>私もそのほうがいいと思います。もし私がこの文面を書く立場になったら、幸せという言葉を使うと、急に川西に住むかどうかとは違う要素が入ってくる気がします。川西市に住んでいて住みやすかったとしても、仕事や人間関係で自分が幸せじゃないと感じる可能性もあると思います。この文書だけを見ると、その次のまた書きのところで、「結果として住んでみたいという魅力にも繋がる」となっています。これをそのまま読むと、「当たり前の幸せを感じてくれるから川西は住みやすい」という文章になっていると思いますが、そうとは言えないと思います。「何気ない日常」になると住みやすさに繋がってくると思います。その意味では、(1)について、私が書いたら「市民の住みやすさの追求」ではないかと思います。</p>
福嶋会長	<p>川西市は住みやすいところだということの結果として、この何気ない日常に幸せを感じて笑顔の生活を送れるふうになるかなと思います。</p> <p>何気ない日常に川西市では幸せを感じていて、何気ない日常を安心して送れるという川西市のベースがあって、ドキドキは会社について彼女と出会って、日曜日にデートに行き幸せを感じるでもいいわけですね。いわゆる住宅都市としては、日頃安心して、何気ない幸せを感じられるみたいところをめざすというのは考え方としてありかなと思います。ここで結論出さなくてよいかしれませんが。</p>
山本委員	<p>読んでいたときは違和感がなかったのですが、言われるとそのとおりだなと思いました。おっしゃっているように、(1)の3行目の「市民の誰もが安心して暮らせる環境を整える」というのは、ここに集約されている気がするので、タイトルは「住みやすさの追求」などがいいのではないかと思います。</p>
福嶋会長	<p>では今の議論をベースにして、もう一度文をつくっていただくということでもいいでしょうか。</p>

発言者	発言内容等
伊藤副会長	<p>1ページ目「総合戦略策定の趣旨」の、最後の段落で総合戦略と総合計画及び個別計画との整合性の話が書かれています。</p> <p>先ほど市民に対して出す計画だという話でしたが、逆に事業課を含む全市職員は出す側になると思いますが、その意味では、この文章だけでは具体的に総合計画と総合戦略はどういう違いがあるのか、各課で作っている実施計画、個別計画と総合戦略はどう繋がるかについて、第1回推進会議で説明したような図を使用して、目でわかってもらうようにしたほうが良いと思いました。</p> <p>それから、策定のプロセスの(2)ですが、これまでとは違う作り方をしてきたことは大きな特徴なので、基本的な考え方ではなく、あえて特出しをしているのだと思います。</p> <p>そのため、「無作為抽出による初めて～」というところが、書かれていますと思いますが、それであれば、今回の特徴は無作為抽出だけではなく、テーマを決めるときも決して行政の土俵の中で決めたのではなく、市民アンケートの返答から決めたことや、この推進会議も上位組織ではなくて、並行してやってきたことも策定プロセスの大きな特徴だと思います。この作り方こそが、川西市がこの後、全国に先駆けているものだと思うので、そういった事が入ってもいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>素案を作っている段階で、総合計画と総合戦略の関係については、以前の審議の中でも出ましたので、市民会議でもそこはわかりやすく伝えないといけないと思います。原案のときには、ここの表現と見せ方も含めて検討させていただきます。</p> <p>それから、プロセスについては、方向性の部分を今回の素案に向けて書きたかったという思いがございますので、今日ご審議いただいた中で、プロセスの部分も同じように見やすいようにお伝えていきたいと思います。ここに付けるのか、資料として付けるのか、そこも工夫しながら、原案に向けて検討させていただきます。</p>
福嶋会長	<p>基本的な考え方というところで、キーワードとして住宅都市、或いは、そこから愛着が持てるような人と人との繋がり、地域活動みたいなことが出てきます。重点政策が4つあり、最初に「子どもたちの成長を支えるまちづくり」となっています。</p> <p>基本的な考え方のキーワードを見ていると、政策2・3・4のものはあって、子どもがあまりメインで出てきていないのに、重点政策ではいきなり子どもが前にきています。</p> <p>住宅都市という言葉のとおり、この会議でもいろいろ話がありましたが、若い世代、子どもを連れた世代、あるいはこれから子どもを産む世代が川西市を選んで入ってきてくれている、若い子育て世代から選ばれる川西市という強みがあるよということを、基本的な考え方の中に打ち出すと、重点施策でまず子どもが最初にくることと、うまく繋がるように思います。その辺を強化してもらえたらいいと思います。</p>
事務局	<p>基本的な考え方はベースになる部分ですので、文章として強調できないか</p>

発言者	発言内容等
	検討させていただきます。
福嶋会長	川西市の強みが文章に出てくるので、その強みの中身として、ぜひそういうものを加えてもらえたらと思います。その点もお願いします。
城南委員	資料の7ページで転入転出の話、10ページで高齢化率の話、11ページで流入流出人口と書いてあります。これは、川西市に住んでいる方が外へ働きに出るとか、他市の方が逆に働きにくるという数を示しているんですよね。それがタイトルからは分かりづらく思いましたので、何か言葉を足していただけたらありがたいと思います。
事務局	確かに流入、流出人口という言葉は行政では使いますが、一般的に市民に発信する、理解してもらおうデータとしては、補足したほうがいいと思いますので、検討をさせていただきます。
福嶋会長	また1章2章に戻っていただいてもいいので、次に行きます。まず重点政策1をお願いします。
事務局	<p>重点政策1の資料17ページ、18ページをご説明させていただきます。</p> <p>まず市民会議でもそうですが、我々行政としても課題あるいは進めていけないといけない施策と考えておりました、次世代を担う子どもたちが健やかに育っていくためには、子どもの成長の中で子育て世代への継続的な支援であるとか、学校での教育をはじめとした子どもたちが学べる機会を大切にしていきたいということで、この政策になっております。</p> <p>これをももちろん行政、或いは家庭・保護者だけではなく、地域や企業など多くの方が子どもの成長を見守る、支えるということをめざしたまちづくりを進めていきたいという政策です。</p> <p>現状と課題は、市民会議で出たご意見や、或いは市が日頃周囲の皆さんから聞いている状況の課題も含めて、まとめた形になっております。</p> <p>今は見ていただきやすいよう、項目ごとに分けている状況です。</p> <p>まず一つ目は、同じ悩みを抱えている子育て世帯の方が相談できる環境はありますが、自分の体験として相談できなかったであるとか、より先輩のお母さん方の話も聞いて気軽に相談できるような体制があればよかったというご意見もあり、産前から産後が特に不安が高まりやすいので、そのあたりの支援も含めて、課題として書いております。</p> <p>それから、女性の就業率の増加などによって、推進会議でもご意見いただいた、留守家庭児童育成クラブの開始時間や、保育施設の充実を民間事業者の方と環境を整えていけないといけないと、課題としてとらえております。</p> <p>三つ目、これは教育の部分になりますが、豊かな人間性や社会性を育むために、一人一人の個性を伸ばす教育を、ということで、市民会議でも意見が出ており、市としてもそういうものを伸ばしていきたいと考えております。</p> <p>こちら学校や家庭だけではなく、地域の皆さんとの役割分担を担いながら取り組むことが課題との認識を持っております。</p> <p>四つ目が不登校やいじめについてです。増加傾向にあることに対し、どの</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	<p>ような支援・サポートをしていけばいいかといった部分が、行政としては課題ということで書いています。それから、登下校時の子どもの事故・事件の発生を防ぐといった課題を書いています。</p> <p>18ページですが、「市民会議からの主な提案」ということで、市民会議でいろいろとご提案いただいた中で、重点戦略や、実際の取り組み内容に繋がる部分をピックアップして5つ書いています。市民会議からの意見、提案を踏まえて、重点戦略の取り組み内容を書いていきます。</p> <p>重点戦略は、それぞれ項目、タイトルとして、例えば&lt;産前産後の支援&gt;と大きくくくっております。</p> <p>の子どもの見守り環境の充実というのは、小学校や中学校も関わってきますが、重点戦略と取り組み内容についてわかりやすく項目を立てています。戦略の一つひとつの説明は省略させていただきますが、取り組み内容についてご説明します。</p> <p>取組内容については、抽象的な表現になっているところと、具体的に書いている部分があるかと思えます。3年間を見据えたときに、大きく書いている部分と、それから今、推進会議でご意見をいただきながらも、庁内で実際のその取り組み内容を検討している段階のため、大きな書き方になっている点をご理解いただければと思います。</p> <p>次に19ページでございます。こちら戦略と取り組み内容を書いておりましたが、一番下の指標をご覧ください。今回皆様のお手元に資料2ということで、A4縦の資料を置かせていただいております。我々としたしましては、重点政策に掲げた部分について、皆様からご意見をいただいている、要は行政が実行したということではなくて、市民の方々に実感いただいたことが成果として現れるといったところを図っていきたくと考えております。</p> <p>我々は毎年市民実感調査で1,000人の方に無作為抽出でアンケートを送り、回答をいただくというような形をとっております。ですので、市民の方が今どのように受けとめ、どういう実感をお持ちなのかというところを政策ごとに指標を設定したいと考えております。</p> <p>福島会長からもご指摘いただきましたように、この政策をすれば、この指標が必ずしも上がるわけではないと理解しておりますが、政策として市民の実感を確認していくことは大事ではないかと考えています。</p> <p>それともう1点、ここもご審議いただけたらと考えておりますのは、これは市民の実感ですが、実際に行政が事業を進めていくときには、この重点政策に向けて、例えば子育ての悩みを相談するときには交流会や子育て相談などに来てもらった人数を増やす目標を設定し、事業をどう進めていったらいいかという目標も持っている方がいいのではないかと考えています。それがすべて政策につながるわけではないと理解しておりますが、行政側として、目標を持つことがひいては政策目標達成するために良いのではないかと思います、参考指標みたいな形で実感を図る指標の後に掲げるのはどうかということをご審議いただけたらと考えております。説明は以上でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>はい、ありがとうございます。それでは、皆さんから申し上げます。</p>

発言者	発言内容等
伊藤副会長	<p>細かな内容の前に市民会議の提案書からこの重点政策への織り込み方の確認ですが、現状と課題のところは、市民会議で出た意見だけじゃないということでもよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。例えば、不登校いじめについての対応が課題だということは、市民会議のほうで話に出ました。ただ、そこからなかなか深いところの議論になっていなかったの、行政が抱えている課題もあわせて現状の課題と書いています。</p>
伊藤副会長	<p>18ページの市民会議からの提案、これはまさに提案書の中からとってきていますよね。例えば子育ての班であれば、もともとの提案項目が6個ある項目を5個に集約したということだと思います。市民会議の提案書とどのくらい盛り込んでいるのか確認していましたが、なかなかうまくできませんでした。ここは、書きぶりそのものを対応させているというよりは、中身としてはあまり変わらないけれども、もう一度表現や整理の仕方を、改めて作ったということでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。2班の提案は6つございました。市民の直接的な声ですので、できるだけこちらに反映しようと思いましたが、提案一つひとつを載せるよりも、例えば提案1の産前産後を通しての協力支援や、子育てについての相談・交流ができるなどを、混ぜて書いているところはございます。</p>
伊藤副会長	<p>時間が足りず、他の重点施策も含めて対応できているわけではありませんが、市民会議からの主な提案と書かれていると、市民会議のメンバーは提案書のこと書かれていると感じると思います。多少表現の仕方が変わってもいいと思いますが、整理の仕方が変わっているように思います。</p> <p>五つの中身は市民会議の中の提案がどこかに入っているということだと思いますが、市民会議でいろんな議論があったのを提案書としてこの2班だったら6つの項目を作ったわけです。</p> <p>その項目を一旦ばらして「市民会議からの主な提案」に入れているということかと思います。</p> <p>タイトルを変えれば良いだけかもしれませんが、「市民会議からの提案」だと当然ながら市民会議で言われたことをそのまま載せていると私には見えてしまいます。</p>
事務局	<p>現状と課題のところは、確かに我々が考えている課題とミックスして書いているというのがあります。2班であれば6つの提案そのままではないですけども、できるだけ市民会議からの主な提案は入れています。</p> <p>例えば2班のページをめくっていただくと、2ページの提案内容のところですが、できるだけ反映してダイレクトに書いていくようにはさせていただいたつもりですが、そこはもう一度確認をさせていただきます。</p>
福嶋会長	<p>そうすると、2つの選択肢がありますね。タイトルを変えるというのと、中身をもう市民会議の提案にできる限り直接沿うようなものにするのか、ど</p>

発言者	発言内容等
	<p>ちらかだと思えます。今の話は、市民会議の提案をできるかぎり生かしていくという考えでしょうか。</p>
事務局	<p>市民会議からの提案のところが、我々のほうで。いろんな文言を付けているのではないかとご指摘をいただいたということでしょうか。</p>
伊藤副会長	<p>このまま読むと、提案書に書いてある項目をそのまま抜き取っているんじゃないかと思ったのですが、そうではなくて、一旦、市として解釈を入れて、同じようなことには最終的になっているのかもしれませんが、書きぶりが明らかに違うと思えます。</p> <p>「市民会議からの主な提案」というタイトルのままであれば、より提案書に近い形にしたほうが良いと思えます。そうではなく、行政側として解釈しているということであれば、このタイトルを変えていくべきです。要はこの部分は何を意味しているのかが変わってくると思えます。</p> <p>私が認識しているのは、「最初に現状と課題があって、その課題対応策としてこんな意見があったから、具体的にはこういうことに取り組んでいきたい」というストーリーになっているのではないかと考えています。そのストーリーから考えたら、できるだけ市民会議の提案に近づけるほうが良いという気がしています。</p>
事務局	<p>できるだけ市民会議の提案内容の部分もこの主な提案に持ってこさせていただいているつもりだったので、そこをもう一度見直させていただいて、このタイトル、主な提案というタイトルを見直すのも一つではないかというご提案と思えます。</p>
福嶋会長	<p>どちらでやるということでしょうか。</p>
事務局	<p>我々としては、「市民会議からの主な提案」を提案書に基づいて、ここに書かせていただきたいなという考えです。</p>
福嶋会長	<p>提案をストレートに反映できるようにするということですね。</p>
山本委員	<p>くどくなるかもしれませんが、例えば案としてこの市民会議からの主な提案というところは、それぞれが提案してくださったままこの言葉を入れて、1から6というふうにして、ここに今、18ページの から に書かれているのは、現状と課題と、あと市民会議から出た提案を踏まえて、以下の5つの方針としますといった形でまとめてもいいのかなと思いました。</p> <p>重点施策が四つで班が5つでどう振り分けるかっていうのは難しいところであると思えますが。</p>
福嶋会長	<p>どちらの選択をするかだと思えます。</p> <p>確かに、班が5つというのもありますね。あと市民会議からの提案って、ここに入れない提案があって、なぜ入れないのかっていう説明が本当は出てくると思えますよ。市民会議の提案も、企業誘致とかがあってありましたよね。</p>

発言者	発言内容等
	<p>それをどう考えるかを示さないといけなくなると、すごく大変だになっていうか、だんだん膨大なものになるかなと。</p> <p>議論をどこまでやってどう反映させるのかっていうのがありますよね。</p> <p>そうすると市民会議からの提案を受けての行政の何かというふうにしたほうがいいのかもかもしれません。</p>
山本委員	<p>お聞きしながら気になったのが、この前回の1班から5班の提案ってすごく内容が充実していて、みんなが見ることができるとすごく面白いものだと思います。これは市民の方が見られる機会はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>すべての提案については、皆さんで一生懸命つくっていただいているので、総合戦略の最後のところに一緒に掲載しようと考えております。</p>
伊藤副会長	<p>山本委員が先ほどおっしゃった点については、たまたま今重点施策1は、子育て班と対応しているから、今の議論ができますけど、ほかの部分はすべてダブっています。</p> <p>産業の班は重点施策2と4にあるし、3班と5班は重点政策2と3、4にバラされています。4班の提案項目が五つあるのですが、主な提案は二つしかないんです。</p> <p>結果として、取捨選択をしていると思います。</p> <p>たまたま今子育ての班は六つの提案の内容が五つの書きぶりの中に、何となく入っているから、この議論ができたなと思いますが、全体で見ると先ほどおっしゃったような、「市民会議からの主な提案」の中に、ある程度入っているということにはなっていないのではないかと思います。</p>
事務局	<p>「市民会議からの主な提案」の部分は、この重点戦略の部分に繋がる市民の皆さんからの提案を課題として書かせていただいている部分があります。全部載っているかといえば確かにそのようにはなっておりません。</p>
福嶋会長	<p>そうすると、現状と課題があって、市民会議からの提案を受けての方向性とか、そういったタイトルにしたほうがうまく流れるでしょうかね。</p>
山本委員	<p>1班から5班の部分を参考資料として添付するだけでは、せっかくつくったけれども、とりあえず載せておきましたという感じになると思います。例えば、ここの提案は、別添の第3班、4班、の意見を集約しています、といった一言を入れて読む方が、行ったり来たりしながら、市民会議に参加された方もご自身の班の提案がどこに反映されているのかがわかる形であれば、より読みやすいのではと思いました。</p>
福嶋会長	<p>本論のところにもちゃんとわかるように入れておくということですよ。入れ方の工夫もあるでしょうが。</p>
事務局	<p>そこは一度、この市民会議からの主な提案のところも踏まえて、おっしゃっているところも含めて検討させていただきます。</p>

発言者	発言内容等
三坂委員	<p>要望事項ですが、例えば18ページの取組内容で、GPSやビーコンなど、わかりにくい文章や語句があります。もっとわかりやすい言葉で書いていただくと嬉しいなと思います。</p>
事務局	<p>それについては、注釈なのか補足で書くのかを全体を見た上で、市民の方にわかりやすい表記を検討させていただきます。</p>
福嶋会長	<p>括弧で両方入れるとか、注釈にするとか、ケースバイケースかもしれません。それはぜひお願いします。</p> <p>重点政策1の現状と課題で、最初に子どもの健全な成長には家族の心身の健康が大きく影響を及ぼすと出てきますが、健全でない成長ってなんだろうかっていう気もしますし、家族の心身の健康が大きく影響を及ぼすというのは、それは影響与えるとは思いますが、これを難病の人が読んだらどう思うだろうとか、発達障害の親が読んだらどう思うかと私は想像してしまうのですが、どうでしょうか。健全な人たちが書いているような気がしますけど。</p>
事務局	<p>確かにこのように書くと会長がおっしゃっていただいた視点で言えば、そういったご意見もあるというのはわかります。</p> <p>ここも我々が最初に、例えばこの重点政策1の市民会議からの主な提案の3に、育児する中で、お母さんの体調にかなり影響及ぼすみたいなところがありまして、それを全体的に表現してしまったという部分があります。</p> <p>ここの部分がどのような住民の方々にも育児、子育てする中で共通するような表現は検討させていただきます。</p>
福嶋会長	<p>多分、おっしゃりたいことは、ちゃんと心身のケアをすることが大事だよってということだと思います。</p> <p>だけどころこういう言い方をしてしまうと、難病の人が読むとどう感じるだろうと思う。表現の仕方だと思うのでその辺も工夫していただけますかね。</p> <p>学童保育はいかがですか。あれは土曜日の午前中がないんでしたっけ。</p>
山本委員	<p>通常そうですね。長期休暇の時間が8時30分からの預け入れっていうのが預けてから出勤するっていうふうになった場合に、その時間がどうなのかっていうことがあったのと、川西が縦に長いので、北の端のほうとかだと、通常の平日が終わる時間でも6時半というのが大阪市内へ出てお迎えが間に合わないっていう話でした。</p>
福嶋会長	<p>そうすると開所時間の延長ということでここに含まれているという考えでよろしいでしょうか。</p>
山本委員	<p>そうですね。</p> <p>もしかしたら議論としては、例えば日曜日とか祝日の受け入れっていうのを困っている方もいらっしゃるかもしれないので。時間の延長っていうだけ</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	<p>に限定しなくてもいいのかもしれないです。</p> <p>ファミリーサポートとかは日曜日は、やっていないですよ。そうするとストレートに書けば、休日の開所や延長ですけれども、それを書くとは3年ではつらいという話しでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。委員がおっしゃっていただいたように担当課にも、やはり夏休み等の開所時間はかなりお電話いただいたりしているようです。確かにその部分や、お迎えの時間も検討できるのかというところがまず大事なのかなと。</p> <p>その上で休日というのが現状でこの3年間でなかなかそこまでいけるかどうか。今担当課が考えています。</p>
福嶋会長	<p>そうすると中間的かもしれませんが、その長期休暇、要するに夏休み等を含めた開所時間の延長という、早くからということが意識できるという気はします。</p>
山本委員	<p>今のところでいくと、市民会議では出てなかったんですけども私がここで発言させていただいたことが入っていてすごく私はよかったと思っただけです。</p> <p>逆に並列で見た場合、ここだけが具体的な施策だと思います。</p> <p>例えば市民会議の提案でいくと、いじめのところでフリースクールとかっていう言葉も出ていたと思います。あと、オープンハウスっていう具体的な言葉もありましたので、ざっくりとここでは、気軽に相談できる仕組みや居場所の検討みたいなことが入っているか、入っていないかわからないと感じる方もいらっしゃるのかなと。</p> <p>逆にこの児童育成クラブのところの実現性がどうなのかなっていうところはあります。なんとなくその辺の具体的に書いているところと抽象度がすごく高いところっていうのは、揃えたほうがいいのかっていうふうには思いました。</p>
福嶋会長	<p>3年間の計画ですから、3年間の計画の取り組み内容を書いてあって、具体的じゃないっていうのはもうNGだと思います。</p> <p>これだけはまだいろいろ検討しないといけないから、例外的にここはざっくり書いてありますっていうところがあってもしょうがないと思うのですが、全部具体的に書かないと。10年じゃなくて、3年の取り組み内容ですから。</p> <p>検討して書いているのはNGですよ。3年間検討するつもりですか。</p> <p>この辺りは担当課と詰めている途中だということですけども。ここはぜひ具体的な記述でそろえる方向でやっていただきたいなと思います。</p>
伊藤副会長	<p>どうしてもまだストーリーが腹に落ちてこない。現状と課題があって、その課題を解決するための方向性の主な提案があって、具体的な取り組み内容がある。これは間違っていないですね。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>そうなってくると、どうも、それぞれが結びついていない。一個一個が独立しているような感じがします。現状と課題で独立し、提案で独立している。取り組み内容も独立しているような感じがします。</p> <p>例えば、重点政策1は子育て世帯への支援、子育て世帯が仕事と両立できる環境の整備といろいろ書いてあることは方向性の中のどれを受けているのか。</p> <p>現状と課題の中の一番上に「支えあう環境が十分整っていない」と書かれているんですが、実は続きに育児に対する考え方から不安がたまりやすい産前産後にかけての支援の話であり、産前産後に関する課題だと読み取った。</p> <p>必ずしもすべてが綺麗に対応する必要はないと思っていますが、ただ、さっき言ったようなストーリーで書いているのであれば、ある程度こういう課題に対してこういう方向性が出てきたからこれをする、という流れになっている方が読んでいてはわかりやすいような気がするんですね。</p> <p>そうですね。現状と課題と方向性のところ重点戦略の部分を一対で表現したほうが確かにストーリーとしてはわかりやすいかなという案も持っていました。</p> <p>一方で、二つ目で留守家庭児童育成について先ほど委員におっしゃっていただいたような推進会議で出た意見、市で考えた意見、実は主な提案のところ、市民会議で出ていなかった部分を合わせていくのに、こういう現状と課題、市民会議の提案みたいな感じにしたほうがいいかなと思って今の段階ではこういう形でしています。</p> <p>取り組みをしようとしているものはこういう内容ですので、ストーリーの部分とか表記は、最初言いました件も区切っていますが、ミックスしていないとわからない部分もあるので、そこは検討させてください。</p>
福嶋会長	<p>今の話で、重点政策1の留守家庭児童育成クラブは子育て世帯の支援っていうのは、現状と課題には2番目に出てきますよね。</p> <p>そのあと方向性のところで出てきていないということですかね。その辺の流れですけど、わかりやすさに繋がると思います。もう1回そういう視点で見直してもらえるかなと思いますね。</p>
上村委員	<p>先ほどから伊藤副会長が言われている市民会議との関連性をどう読みとったらいいかっていうところは結構重要と思います。ここから出ているよっていう出所がある程度明記されると、この資料からこっちが出てくることもわかると思います。この構成でいくのであれば最低限どこから出てくるかっていうところの明記は必要かなという気はしました。</p> <p>ひょっとすると無いものがあるかもしれない、そうですね。</p> <p>だからそこを明らかにしていくと、苦しいところが出てきているのかなっていう気もします。</p>
福嶋会長	<p>確かに全部出典を明らかにしなくても、ここは市民会議から持ってきたよっていうのがわかるだけでもいいかなと思いますけど、それは揃えなくても場</p>

発言者	発言内容等
	<p>合によってはいいということですね。</p> <p>それであればある程度、流れを意識して見直す中で出典もちゃんとどこから持ってきたかがイメージできるものは明示していくというような感じですかね。</p> <p>指標ですが、これって、子育てしやすいまちだと思える市民の割合って、これ大人がですよ。子どもがこう思っているのが、こう変わりたいっていう指標はないですか。</p> <p>国際比較で自己肯定感のある子どもがすごく少ないと言われます。</p> <p>自己肯定感のある子どもの割合をこのくらい引き上げるといってすばらしいし、指標のように思うのですが。それは、全然調査してないと難しいです。かね今から3年間というのは。</p>
事務局	<p>児童生徒にアンケートをとって、学びの環境の部分とかとっている部分もあるのですが。全体でのアンケートはまだ対象者にとっていない状況です。確かにこの政策でいうと、大人子どもの両方が本当はあればいいのかなと思ってはいました。</p>
福嶋会長	<p>やっぱ欲しいですよ。</p> <p>自己肯定感でなくても代わりに何かないですか。</p>
山本委員	<p>うちの子は北陵小学校ですけど、学校からのお手紙で子どもにとってアンケートの結果などをもらってくることもあるのです。</p> <p>項目はあまり覚えていないんですけども、現状はその学校ごとにやっているような感じですかね。</p> <p>もしそれが学校ごとであれば、何かこれに結びつくような指標を一つの共通に入れて取るっていうのも考えられるのかなと思います。</p>
事務局	<p>山本委員おっしゃっていただいているとおりで、市民実感調査でしか調査できていないんですけども、例えば学校ごとで満足いく教育を受けられる環境が整っていますかとか、学習内容を理解していると思う児童の割合というような形でアンケートをとったりはしています。</p> <p>満足いく教育っていうのはとらえかたがすごく難しいですけど、こういう形でとっている分はあります。それをうまく活用することができるのかなというふうには考えております。</p>
福嶋会長	<p>ではその辺を教育委員会、学校と検討してもらってここで指標を使えれば。努力をしてみてもらえますか。</p>
山本委員	<p>おそらく学校で取っているアンケートも保護者が書くアンケートもあれば、生徒さんが答えられるものもあるのかなと思います。</p> <p>会長がおっしゃっていたのは、子ども自身が感じるっていうことがすごく大事かなっていうふうには思いました。その辺がもし今あるものを活用となると大人のバイアスがかかるようなところもあるかもしれないので、せっかくの機会なので、子どもが素直に意見を出せるような項目があるといいのかな</p>

発言者	発言内容等
上村委員	<p>というふうに思います。</p> <p>この総合戦略の案のすべてに関わることでですけど、これはどういうアンケート形態をとっているのか教えてもらってもいいですか。</p> <p>これは毎年やっているのか数年に1回なのか、すべての市民、無作為とかいろんな方法があると思うのですが郵送なのか委託なのかその辺の情報をお願いします。</p>
事務局	<p>市民実感調査を行っておりましてこれが16歳以上の市民の方を無作為で抽出しております。</p> <p>その1000人の方々に郵送で送らせていただいて返送していただくという形です。毎年55%ぐらいの返信がございまして、それを実感調査として結果をまとめているところです。かなり前から行っています。</p>
上村委員	<p>そうすると過去の指標の推移もわかるのですか。</p>
事務局	<p>そのとおりでございます。</p>
伊藤副会長	<p>市民会議からの主な提案の中で提案項目の3番目に、「子育て中の世帯に情報が伝わる仕組みをつくる」があります。確か前回の推進会議で、やっていることがすでにあるけど伝わっていないという話が出ていたと思います。</p> <p>重点政策の4番目に情報発信の話が書いてあるので、一旦整理すると、そちらに固めているという認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりでございます。</p>
伊藤副会長	<p>四番のところでは話をするほうがいいかもしれないですけど、多分4番目だけ見ていると必ずしも子育てのところの話とうまく連動できていないのではないかなと思っています。</p>
福嶋会長	<p>私からもう1点だけ。これ意識して、多分、書かれていないと思うのですが。市民会議からの主な提案4で子どもたちが個性を伸ばしていく環境をつくと書いてあるのですね。その次のページの今度は重点戦略取り組み内容のところの中身では児童生徒一人一人の個性を伸ばしと書いてあります。</p> <p>個性って、はい、あなたの個性を伸ばしなさいって言って人は伸ばすものではないと思うんですよ。伸ばしましょうって伸びる個性なんて個性じゃないと思います。</p> <p>だから、子どもたちが自分で個性っていうか本当にやりたいことをやったり、興味があることにチャレンジしたり、いろんなことをやる中で個性が結果としてって言っていいぐらいだと思うのです。個性が育っていく、子どもたちが自分たちで個性を発揮していくと思うんですよ。個性を出せて教育で人が育てるものではないと思います。</p> <p>だから、「子どもたちが個性を伸ばし」のほうがよくて、一人一人の個性を伸ばしは何か。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>一人一人が個性を伸ばすといった表現で揃えてもらったほうがいいのかなど。細かいこだわりだけど、実はこれすごく大きな話です。 では重点政策2のほうの説明をお願いします。</p> <p>それでは重点施策2の誰もが活躍できるまちづくりの説明をさせていただきます。</p> <p>時代の変化とともに人の生き方は変わっており、自分の力を活かす場所は人それぞれとなっております。</p> <p>自分の居場所とか、こういうところであれば力が発揮できるだろうというような場所があります。</p> <p>それが、幸せに繋がってくるというところを重視して住み慣れた町で仕事や地域活動、いろんな場所で活躍や過ごせるまちづくりをめざしていきたいということで、重点政策2を確立させていただいております。</p> <p>現状の課題でございますが、市民の多くは市外に勤務をしている方が多いという状況になっております。</p> <p>それと、子育てであるとか、介護など様々な理由で働きたいと思っけていてもなかなか働く場所がなかったりとか遠かったりとか、そういう理由で働けない方がいるということがございます。</p> <p>一方で先ほどの特徴で高齢者が多いという現状です。ただ逆にシニア層の力に恵まれているという考え方もできると考えております。</p> <p>四つ目の丸ですが、住宅都市である本市ですけれども、先ほどの全体別で見ましても20歳代の方が、いわゆる転出が多いというような状況がございます。就職等の機会に市外に出られているというふうに推測できます。</p> <p>実際このような現状を踏まえまして、子育てされている方、或いは介護されている方、また学生とかシニア層の希望に合わせた働き方ができるような新たな仕事とか雇用の創出ができればということで書かせていただいております。</p> <p>どちらかという雇用や仕事の部分の検討課題を書かせていただいております。</p> <p>下2つがいわゆる地域の部分、まちの中での活動も出させていただいております。</p> <p>コミュニティ組織や自治会などの地縁団体の参加者減少、或いは自治会の加入率が年々減少しているという現状がございます。</p> <p>また、サークルであるとかグループ活動などの市民活動も団体数が減り活動者数も減っているという現状がございます。</p> <p>この部分を強制するというのではなくて、実際には市民1人1人の方がどのような場があれば自分の居場所や活動できる場所になるのかということを考えていけないというのが課題としてとらえている点でございます。</p> <p>右側22ページ、市民会議からの主な提案で書かせていただいているのと、重点戦略におきましては、課題の方のいわゆる働くというところの支援と地域での場所づくり、或いは活躍できる場所づくりというところを書かせていただいております。</p> <p>それと、23ページですが、こちらは新たな活躍の場の創出ということで、</p>

発言者	発言内容等
	<p>新たな仕事や雇用の創出に向けた形での支援をしたいということで通常の雇用とは異なる視点を持った戦略を書かせていただいています。 簡単ですが説明は以上でございます。</p>
福嶋会長	<p>ありがとうございます。それでは委員の皆さんからお願いします。</p>
三坂委員	<p>私の感想ですけど、これ誰もが活躍できるまちづくりというタイトルですけど、とてもプレッシャーを感じました。 以上です。</p>
事務局	<p>活躍というこの二文字の部分は先ほど来からご指摘いただいている、人それぞれの考え方とか自分の生活がある中で、この表現が適切だろうかというところは中でも議論しました。 居場所や自分の活動ができるようなところがあればというようなそういうまちづくりをめざしたいということで書かせていただきました。 タイトルについて、おっしゃっていただいたようなことは理解できます。</p>
福嶋会長	<p>誰もがやりたい活動やりたい時にできるまちとか。 やりたくなければやらなくていいっていうのがもちろんってことですね。</p>
三坂委員	<p>安心して住めるまちづくりというのがやっぱり私は一つのキーワードかなと。後から出てくるかもしれないですけど、思っています。</p>
伊藤副会長	<p>ここでの活躍というのは、いわゆる働く場所ということになるのですか。中身を見ていると、働く場やシニア世代が労働ということだけじゃなくてボランティアも含まれるかもしれませんが、活動できるような機会を作ることになるのでは。そもそも活躍という言葉ではないのかなという気もしています。活動の機会の創出の方が趣旨に合うようにも思います。</p>
上村委員	<p>伊藤副会長への回答になってしまうかもしれませんが。 たぶん重点政策2のリード文の2行目のところに答えがあるんじゃないかなと思います。自分の居場所や力を発揮できる場所があるというところに答えがあってここをタイトルに持っていくのが自然なのかなという気がします。 活躍できるようになると何か一億総活躍みたいな話に見えて。あれがいいのか悪いのかっていう議論がありましたけど。 自分の居場所や力を発揮できるまちづくりはどうか 居場所と力の発揮っていうところを上手くくっつけて、まちづくりをつけていくほうがいいかなと。多分力を発揮できる人もいれば居場所があってそれでいいという人もいると思うので。居場所っていう文字を入れていくのがいいのかなっていう気がしました。</p>
福嶋会長	<p>そうすると自分の居場所や力を発揮できる場所があるまちづくり</p>

発言者	発言内容等
上村委員	<p>ちょっと長いですね。でもそういうイメージです。</p>
城南委員	<p>提案ですけれども、例えば22ページのところで、取り組み内容を見てみますと、仕組みの構築とか、支援とか、あと下のほうもやはりつなぐ仕組みの構築とか、結構何か仕組みを作っていくという。</p> <p>作業なのか、業務などわかりませんが、期待されていますよね。それをつくっていききたいと。</p> <p>当然先ほどの重点政策1のほうでもやはりその相談できる仕組みの導入、やはり何らかの仕組みづくりをされようと考えておられる。</p> <p>議論が飛んでしまうんですけれども、例えば個人なり地元の会社にそういう仕事を出すことで、雇用が生まれ、地元にお金落ちる、地元での定着率とか、定住率がふえていくとかが起こっていく。</p> <p>多分市で予算を執行されるとなると、こういう仕組みづくりをするときには、やはり入札をされて安いところと契約し、そこに仕事をしてもらうというのが一連の流れだと思うのですが、片方でこういうまちづくりをされようとしていて、雇用の創出等々も考えておられ、起業支援も考えている。</p> <p>どこかに勤めていなくても個人での起業も増やしていきたいという思いがあると思う。安いから外の企業に事業を頼むというよりも、入札の条件の中に例えば川西市で開業しているとか川西で勤めているとかを入れていることによってそういうところに、仕組みづくりをお願いしたり情報のアプリをつくるのであれば、お願いすればよいと思う。</p> <p>そうやって地産地消ですかね。この場合の地産というのは人材ですけれども。地産というのは、川西市の予算であったりするかもしれませんが、そういうこともここに書けるかどうかわかりませんが、入れることによって、川西市の産業とか勤められる方が、増えていくような気がします。思いつきで申しわけありません。</p>
福嶋会長	<p>入札条件をここに書くっていうのは無理かもしれませんが、今のご趣旨だと地元の企業やNPO団体と一緒に仕組みづくりをするとか、そういうイメージでいいですか。</p>
事務局	<p>たしかにプロポーザルでいろんな条件を我々のほう設けさせていただいて、それで業者さんを決定するという手法もございます。</p> <p>23ページに抽象的な表現で大変申しわけないですけれども、取り組み内容2のところ、おっしゃっていただいたような地域の課題解決時に行政だけではなかなかできないけれども、例えば川西市内で起業している方とか川西市で企業や会社を持っておられる方が、我々の課題解決できるような提案をいただけたら、そこで仕事が発生したり雇用が発生したりそういう連携をしていける方法はないかなということでそういうのも検討しています。今ご意見いただいた中で、検討していきたいと思っています。</p>
福嶋会長	<p>今の仕組み作りでこういう仕組みを作る、こういう制度を作るっていうイメージはそれぞれあるのですか。これから考えるということですか。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>取り組み内容の部分の仕組みは具体的なイメージを持っているものもあります。</p>
福嶋会長	<p>そしたらそのイメージをここに反映してもらったほうがわかりやすいですよ。</p>
事務局	<p>ここの取り組み内容でも、例えば3年間なので、より具体的に提案とおっしゃっていただいているところも踏まえて、原案のときには表記の仕方は考えた上で出させていただきます。</p>
三坂委員	<p>23ページの取り組み内容ですけど、民間事業者と市との協働による課題解決に向けた仕組みの導入ということですが、川西市さんNPO法人とかと市が社会的課題解決で協働事業を提案されていますので、それをもっと積極的に進めるという書き方のほうが私はいいと思っていますけどいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>委員がおっしゃっている我々の既存の事業のほうで工夫していく部分もちろん検討しております。</p> <p>起業してまもない方というかベンチャー企業の方々と協力するような形の体系も必要かなと考えてまして、ただその両面で、おっしゃっていただいたものを含めて導入の仕組みを考えていきたいなと考えております。</p>
福嶋会長	<p>現在行っている、NPOと一緒にやるという仕組みをより強化っていう意味ですか。</p>
三坂委員	<p>地元の企業と連携していくというものですが、やっぱりこれいろんな団体がありますので。</p> <p>新規ばかりではなくて昔から頑張っている企業もやっぱりあってそちらとの絡みもあるので検討課題かなと思っています。</p>
事務局	<p>これについては両面ございます。委員がおっしゃったように、地域に密着したNPOのような団体との協働を深めていこうという、従来路線を続けていこう、あるいは拡充していこうという部分と、もう一つは川西市近辺というだけではなく新しい技術とか取り組みをしようとしているような民間企業とかですね。幅広く新たな事業に取り組んでいる企業と協働していこうというものです。市が今まで目を向けていなかった新しい技術に我々としても目を向けていかなければならない。</p> <p>そういった面も含んでいます。一つの言葉になりますけれども、見ている方向が大分違うことを2つ含めるようなイメージがあります。</p>
福嶋会長	<p>新しいことを行政もいろんな企業と考えて企業にできるような提案制度がある。それはそれでいいですが、NPO協働事業提案は色々な自治体でやっておりますけども、ますます行政がやることを増やしていつている。中に</p>

発言者	発言内容等
伊藤副会長	<p>はNPOが自分でやれよって思うものまで協働事業提案に載せて、市からお金もらってやるものが結構ありうると思います。</p> <p>だから、今行政が抱えている、行政が役所だけでやっている事業を、こっちによこせっていう、新しい事業を何かを始めるとかっていう話ではなくて、行政がやっていることを民間でちゃんとできるようにする、そういったことも合わせて必要だと思います。</p> <p>結構、民間がやったほうがいいものを、役所が抱え込んでいるっていうものがまだまだあると思いますね。</p> <p>21ページの現状と課題のところですが、ここで書かれている、職住分離があるから子育てや介護など様々な理由で働く意思や能力があっても働くことができない、というのが現状の認識ということですか。</p> <p>どちらかという川西モデルや住宅都市というポジティブに受けとめていたんですが、ここだけ読むと、今はよくないというふうに見えるのですが。</p>
事務局	<p>もともと大阪から帰るかた、住む場所として川西が発展してきた、それはおっしゃるとおりでして、その通りです。</p> <p>現在その職住分離等でそこに2行目あたり言葉は足りていないですけども。</p> <p>昔と違ってですね、例えば介護の問題が非常に大きくなっていて通勤に、市民会議でもありましたけれども、川西の奥のほうだと大阪まで1時間以上かかります。或いは子育てで保育所の閉まる時間に間に合わないということで、フルタイムで働けないとか、そもそも働くことを諦めていらっしゃる方がいるという事を市民会で意見が出ておりましたのでそういうふうにかかせていただきました。</p>
伊藤副会長	<p>書きぶりだけの話かもしれないですが、今のお話を聞いて書きたいなと思ったのは、最初は「川西モデル」という言葉を使っていいのではないかと思います。川西モデルで、宅地造成市場で策は決して悪いことではなく、それによって人口も増えてきたというところがあったんですね。</p> <p>ただ新たな課題として介護などが見えてくる中で、今度は通勤しやすというものだけではなくて、川西市の中でも働けるような環境をつくる必要があるという流れの方が、ポジティブにとらえられると思いました。</p>
福嶋会長	<p>職住が分離しているから住宅都市ですよ。住宅都市と言っておきながら職住分離が悪いみたいに受け取られる部分はなにがなんだかよくわからない。住宅都市だけど、介護しながらいろんな問題を抱えて遠くに通勤できない時も地域で何か自分ができる仕事を見つけられるみたいな意味ですよ。それをわかるように区別して書いたほうがいいのかも。</p>
伊藤副会長	<p>同じ部分で、重点施策1にもあったのですが、現状と課題の中、ここであれば5番目のところに若者が市内で起業するケース、またシニア層が定年後に起業するケースがふえてきているという定性的だけど、すごく重要な事実を書いたケースがあると思います。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>定量的に書けるのであれば、定量で書いたほうがいいのでは。もう一つは本当なのだろうかと思ってしまいます。印象論で書かないほうがいいと思いました。</p> <p>そうですね実際に、こういう話をよく聞くようになっていて、間違いはないですけども、おっしゃるようにデータとして示せるものがあるかどうかしっかり確認し、無い場合は記載内容を検討したいと思います。</p>
福島会長	<p>エビデンスはしっかり意識してほしいですね。</p> <p>現状と課題のところ、下から二番目の黒丸と一番下の黒丸というのに関係していますか、してないですか。</p> <p>書き方としていろいろ現状があって、こういうことが課題になっていますってというような書き方ですから。最後から一つ前のやつは、現状が書いてあって、そこから出てくる課題がその次ですかね。そうでもなさそうですが。この最後の二つの黒丸の関係はどうなっているのですか。</p>
事務局	<p>おっしゃっていただいたように一番下だけがいわゆるこの政策という地域とか居場所で活動ができるということと、最後の部分だけが大きいです。まち全体とその課題みたいな形になってしまっていますので。</p> <p>地域の方で起こっている加入者数とか加入率とかその辺の部分の課題を書き換えて修正させていただきます。</p>
福島会長	<p>下から二つ目の黒丸の書いてある現状というのは、女性の社会進出でだんだんそういう活動数が減少していますって言葉だけを追うと意味不明ですよ。</p> <p>文章だけを見ると意味がとりにくいですが、仕事する女性が増えたので、ボランティア団体の女性が減ったというようなイメージだと思います。わかりやすく書いてもらおうと。</p> <p>何が課題なのかっていうのがこれだけ書いてあってもわかりません。</p> <p>活動団体を確保するために女性の社会進出を制限しましょうって話ではないわけなので。その辺りも整理してもらって。</p>
城南委員	<p>今の会長がおっしゃっているところと同じ場所ですけどもね。</p> <p>自治会は負担感等から、加入数が年々減少しているというふうに読めます。</p> <p>その対策として、22ページの地域で活躍できるまちづくりのところでは、活動したい人と活動団体をつなぐことによって、入る母数をふやしていきます。1人当たりの負担率を下げていきましょうというふうに繋がるのかなと思います。</p> <p>以前に大和にお住まいの方と話したときに、自治会を何とか変えよう、活性化しようということで、関わっていたけど諦めたって言っていました。非常に活動的な方ですけども。</p> <p>それはなぜかお聞きすると、もともと自治会に入ってらっしゃる方々ってというのはかなりご高齢でいらっしゃるんですけども、その方々が全然聞き</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>入れてくれないと。  そんなことしないとかそうやったら駄目だということを言われる。自治会をもっと活発化させたいけども、それがなかなか変えられない。それで自分は諦めた、別の道でいくというようなお話がありました。  それはある一例かもしれませんが、特異な例かもしれませんが、自治会に対しての処方せんというか、改善策っていうのが、なかなか難しいっていうのが今の思いです。</p> <p>同じ総合政策部の中で参画協働課というのがあり、特に自治会とか地域の関係をやっているところです。そこで仰っている課題が実は会議を持っていて、より深めた形で話をしているところです。  いま委員がおっしゃったことは全然珍しくなくて、本当にやる気がある方が関わっていきこうとしたときに、今までの活動と合わないということで、どうしても衝突がある。  若い方が新たに参加していくときにやっぱり障壁と感じているのが、自治会の活動をワンセットで必ずといいますか、確保してくださいみたいなことをしても、イメージを持たれていて、もちろん入ってくださいというのはやる気がある人はできればいろいろやってくださいよみたいな形になってしまう。  一方でやっぱりこれから活動していきたいという方は自分の得意分野とか興味のある分野で活躍したいという思いがあるので、そこへアンマッチが生じているのですが、ここでそこまで具体的にいうと関係ないところもあるのですが。そこを何とか、例えば自分の得意分野を活かして参加したいという方でもOKですよみたいな仕組みができればいいというのが今そっちの方向はで議論をしてもらっているところです。  おっしゃっている通りのところ、本当に解決ができればなということで、申しわけございません。この位置にそこまで書くと今やっているのははっきり書けないところがありますが、おっしゃるとおりだと思います。</p>
福嶋会長	<p>逆もありませんか。やる気のある元気な高齢者がいろいろな事業や取り組みをやるけど、班長になると大変な話になって、シンプルにしたらって思っている人もいっぱいいる。  だけど活動的な高齢者の役員さんに何を言っても、「これはやらないとダメ！」って言われて。両方がありそうな気がします。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりです。役所もいわゆるスクラップアンドビルドになってしまってきているというのと同じようなことが地域でもやっぱりあります。新しいものを入れてもなかなか。活動的に頑張られるとなかなか後が付いていきにくいとかそういった現象がやっぱりあるかと思います。</p>
福嶋会長	<p>自治会の風通しを良くするというのが共通の課題かもしれませんね。</p>
事務局	<p>そうですね。風通しの問題があります。自由に意見を言えて、それをその時の活動に反映できるという仕組みがあれば本当はいいのですが、なかなか</p>

発言者	発言内容等
片山委員	<p>ですのでこれからの課題です。</p> <p>23ページの指標のところ、社会と関わりのある生活をし、充実している、と感じる市民の割合と、あるのですが、これでこの指標が図れるのでしょうか。私のところにこのアンケートが来た時にどう答えていいのか曖昧な感じがします。</p> <p>なので、例えばですけども重点政策2のところのタイトルを変えたのであればその部分で「自分が居場所や力を発揮できる場所があることを実感できているか」とか、そういったふうに変えてもいいのかなと思います。</p>
事務局	<p>既存の経過を意識し過ぎたのがあって、その実感調査でひろっている一番近いものがこれだろうというのがありました。</p> <p>確かにこの政策とは一致しないところもありますので、今のご意見参考にしながらタイトルも変えますので、事務局で検討させていただきます。</p>
福嶋会長	<p>そのメインが変われば変わるのかもしれませんが、サブ指標で起業支援セミナー開催回数、参加人数ってあります。</p> <p>指標にするなら、起業した数だと思います。参加人数が指標ではないだろうと思います。それもあわせてよろしく願いいたします。</p> <p>では重点施策3の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>重点施策3になります。</p> <p>「安心で暮らしやすいまちづくり」ということで、市民の方々が住むにベースになっている部分を書かせていただいています。</p> <p>子ども、高齢者、障害者などすべての市民が安心して暮らせるということを中心にしています。特に災害、犯罪、一方で目を移しますと人口減少、少子高齢化によって町の様相も変わってきているというところに的確に対応して住宅都市という部分の川西の魅力の部分のしっかりと維持向上させていきたいというような政策になっております。</p> <p>現状と課題の部分でございますが、市民会議の意見ですけど神戸などのベッドタウンを主として住環境というところを一つ選んでもらえる或いは住み続けてもらえる特徴の一つというところ。</p> <p>そういうところで考えるとやはり市民の方の安全というところがすごく大事なのかなというふうに考えております。</p> <p>その部分で課題として、先ほど申し上げました防災、いわゆる災害もかなり状況も変わっておりますので、その部分の危機意識を高める、或いは犯罪でいうと、子どもさん、高齢者の対策もしっかりしていく必要があるだろうと。</p> <p>ある意味では安全で安心して暮らすという意味では、平常時からのいわゆる備えの部分と、それと非常時に何か起こったときの対応ということの両面が必要ではないかというふうに考えております。</p> <p>それともう一つ先ほど人口減少、少子高齢化によって住環境の部分でも変化が出てきております。</p> <p>空き家の数が増加しているところであるとか、公共交通とそれに伴う人口</p>

発言者	発言内容等
	<p>減少等に伴って乗客数が減少して減便になっていますので、そのあたりの利便性を保つということも大事であろうということで、課題として挙げさせていただきます。</p> <p>重点施策には防災防犯対策と空き家、それと利便性、これは公共交通、特に基幹交通というよりいわゆる団地内であるとか、地域内の交通の部分を上させることが良いというところ。川西市の課題のところを戦略として書いているというような状況でございます。</p> <p>以上でございます。</p>
福嶋会長	はい、ありがとうございます。委員の皆さんからお願いします。
三坂委員	<p>現在、川西市は空き家が増えています。単身高齢者も増えております。</p> <p>それと同時に空き巣被害が非常に増えていて、高齢者の孤独死も増えていると聞いています。一つの取り組みを提案としてですが、例えば高齢者の徘徊とか結構あると聞いています。</p> <p>押し買い等の被害も増えているということで、例えば伊丹市では防犯カメラ設置を頑張っているというか、結構設置していて、効果をあげていると聞いています。</p> <p>予算と市民の同意が得られるかどうかですけど、そういったことも今後検討していただければならないという提案です。</p>
福嶋会長	空き巣対策に防犯カメラですか。
三坂委員	押し買いの被害も結構出ていると聞いています。防犯カメラを設置することによってそうした被害を防ぐことができるんじゃないかなと。
福嶋会長	防犯カメラの議論は今まで出たのでしょうか。
事務局	<p>市民会議では特に出していませんでしたが我々のほうでも防犯カメラは市として要望等もあった関係で、小学校区ごとに地域の方の話でこのあたりにつけるとということで各10台ずつ付けてあります。防犯カメラはこれ以上増やすかの議論はありますが。</p> <p>市としてはそういう部分の事業は進めてきたという経緯がございます。</p> <p>今回ここでは、防犯カメラというのは先ほどおっしゃっていただいているような一人一人が何か見つけてそれを遠隔で見られる方がいいかなという考えがありまして、こういう戦略としているという状況でございます。</p>
福嶋会長	徘徊はどうですか。
事務局	確かに徘徊のところまでそれを設置できるのかも、具体的なことはわかりませんが、確かに高齢者の方にお持ちいただいて、それによって居場所等がわかるというものも利用できるのかなというふうに考えております。

発言者	発言内容等
伊藤副会長	<p>さっき片山議員が前の政策でおっしゃっていた指標の関係ですが、より大きい話で『「住みよいまちだ」と思う市民の割合』になっており、第1章で住みやすさの追求について話が出ましたが、全体のことを言っているような気がします。</p> <p>総合計画から引っ張ってきていると思うのですが、この政策自体がかなり大きい構えになっている。「安心して暮らしやすいまちづくり」となっており、まさに第一章で議論したところとかぶってくると思います。</p> <p>子育てであっても住みやすさ・暮らしやすさに含まれているということにもなり、全部を包含しているような気がします。</p> <p>具体的な中身を見ていくと、防犯・防災・空き家対策となっているので、もう少しリード文とテーマを落としてもいいという気がします。</p>
福嶋会長	<p>これだと指標は安全だと思ふ人の割合ということですよ。</p>
事務局	<p>おっしゃっていただいたように、総合戦略の全体のような指標になってしまっています。</p> <p>確かに『備えをしていますか』や『災害に強いまちですか』『安全ですか』というような市民実感調査もしておりますので、一つに、とられすぎたかなというのがあります。タイトル、内容を見ながらいくつかの実感を聞くような形の方が今お話をさせていただく中でいいのかなというふうに考えていますので、検討させていただきます。</p>
伊藤副会長	<p>安心して暮らしやすいまちづくりの何かいいネーミングがないかと言いつつ、思いついていません。私は変えた方がいいと思っています。</p>
福嶋会長	<p>その辺りを踏まえて考えていただければ。</p> <p>公共交通の減便の話ですが、利用者の減少ということもあるでしょうけど、東京都内だってバスの本数が減りました。それは運転手さんの不足が大きいとのこと。乗る人はいても運転手がいなくて減らさざるを得ないというのはいろんなところで聞きます。都会でも田舎でも。</p> <p>川西市はそういうことはあまり聞かないですか。</p>
事務局	<p>運転士不足の問題は確かに聞きます。ただ担当課から減便になったということは聞いていたのですが、その原因は乗降客数が少ないことなのか運転士が不足していることなのかは聞いておりません。川西ではどういう状況なのか確認をとります。</p>
城南委員	<p>もしわかったら教えていただきたいんですけど、26ページの利便性向上の取り組みでオンデマンドモビリティサービスの推進とあります。これは以前より実証実験をお考えになっていた件だと思うんですけども、進捗といいますか、足元の状況でも、もしわかったら教えていただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>1のオンデマンドモビリティサービスは、地域内で自動運転をめざして実証</p>

発言者	発言内容等
	<p>実験をしていくというものです。</p> <p>現在の状況ですけれども、導入にあたって、例えばバス会社、タクシー事業者の方との調整が必要であったり、また地域の方の意向であったり、関係者との調整を図っている段階で、実証実験までまだいけない現状でございます。</p>
福嶋会長	<p>3年間の中で実証実験をするっていうことは考えていないということですか。考えているならここには具体的なことをなるべく出してもらったほうがいいかもしれません。</p>
山本委員	<p>さっきの「安心して暮らしやすい」まちづくり、というところのタイトルですけど。抽象度は若干落ちるかなということで、安全という言葉を入れてもいいのかなと思います。安心と安全で、この防災防犯とか空き家利便性っていうのが、結構具体的になると思います、「暮らしやすい」という表現にすると。気持ちの面とかやりがいとかを包含してしまっている気がします。</p>
福嶋会長	<p>「安心」も「暮らしやすい」も気持ちのところが大きいですよね。安全の方が客観的なのかというのはありますよね。それを含めて検討をお願いします。</p>
伊藤副会長	<p>そう考えたときに、25ページの現状の1個目「住環境のまちが特徴の一つ」というのは、ここでは意味をなしますか。</p> <p>住宅都市だから、自然災害とかが多いわけではないですよ。住宅都市だから何かがあるためこの1個目にあるのですよね。</p> <p>住宅都市だから高齢化が進んでいて、さらに安全安心を進めなければならない。でも、ここで言っているのはいわゆる団地だけじゃなくて、市内全域の話になっている。</p> <p>このテーマの中にもベッドタウンの特徴があるかと思ってお聞きしました。</p>
福嶋会長	<p>刑法犯の発生件数なんて、住宅都市では少ない傾向にありますよね。隣の繁華街に出てけんかしているかもしれないけど。刑法犯の発生件数は他と比較してどうですか。</p> <p>自然災害はやってきますよね。住宅都市であろうと。</p>
事務局	<p>記憶は定かではありませんが、県内や周辺自治体の中ではやはり川西市は少ないというのは出ていたかと思います。</p>
伊藤副会長	<p>住宅都市だから空き家が多いという特徴はありますか。</p>
三坂委員	<p>予備軍が多いっていう話です。全国3位です。</p>
福嶋会長	<p>空き家の予備軍のデータがあるのですか。</p>

発言者	発言内容等
事務局	ひとり暮らし高齢者の数だと思えます。
上村委員	<p>だとすると特徴の一つであり、それゆえに様々な問題を抱えていますというふうに考えると繋がるかなと思えます</p> <p>住宅都市であるがゆえに抱えている問題があるということをごここに明確化するといいいのかなと思えます。</p>
城南委員	<p>抱えている問題っていうのもその通りだと思うのですが、イメージとしてネガティブかなと。</p> <p>どちらかという、これから起こることを予想して防いでいきましょうよという方がいいと思えます。その方がポジティブに受けとめられると思えます。</p>
福嶋会長	<p>まさに空き家の話もそうですよね。</p> <p>予備がいっぱい。空き家って相続をきちっとやってもらうことが大きいので。</p>
三坂委員	<p>未然対策をいかにしていくかです。</p> <p>川西市に空き家があっても実家があっても実際は東京とか大阪とか遠方に住んでいるという形です。それでほとんどが帰ってこない。それでそのまま空き家になってしまうという可能性があります。今Uターンを中心に、人口減少、結構広い範囲ですすんでいます。</p> <p>だから、いかにも予防策として最初出ていたとおり、この空き家になる率を少なくしていくかという予防対策はしていかないと。</p> <p>非常にまずい状態であるというのは川西市の実態だと思えます。</p>
福嶋会長	その予防対策をできるだけ具体的に書いたほうがいいですが、具体的に書くとしたらどういったイメージでしょうか。
三坂委員	たとえば遺言書を書いてこの実家は長男に譲ると家族信託を設けるとか、そういったことを書いていく。やっぱり空き家問題を知ってもらうということが重要な課題だと思えます。
福嶋会長	<p>遺言書というのは相続の問題ですよね。</p> <p>相続しても住まないという人が大半だとすると、そこの対策ですか。</p>
三坂委員	<p>要するによく空き家というのは空き家本体だけで考えられますけど、実際は親が住んでいた内部動産の問題もあって、それらが処分できない。</p> <p>特に女性の方が多いいみたいですけど、これは親が使っていたもので思い出が詰まっているので処分できないということがあって、親が将来これこうしてくださいとか、はっきり明確に子どもたちに示すことによって、将来実家が空き家になっても、簡単に処分できますね。</p> <p>そういったことを子どもたち含めて周知してもらうことによって、空き地空き家の流動化が進んでいく。</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	<p>周知活動をもっとやっていかないとまずい状態になるなと思います。</p> <p>空き家になってからじゃなくて、住んでいるうちに相続対策をちゃんとするって話ですね。</p> <p>そういうことも含めて、よろしいでしょうか。</p>
城南委員	<p>空き家対策とか、それから企業誘致とかの話にも近いのですが、ご存知の通り、猪名川町の差組ってところで、プロロジスが物流センターを造成中です。</p> <p>これが45万平米ほどあって、雇用が2,000人ほどあります。</p> <p>とても猪名川町さんだけでは労働力が供給できません。</p> <p>ちょうど川西能勢口から阪急バスを使って日生中央に行く途中にあります。</p> <p>そこだけでも多分、労働力は供給できないので川西市も労働力を供給していくことになるのかなと思います。要するに、職住近接が、一部で起こることになります。</p> <p>そこをうまく政策的に繋げていけば、流出者の速度を緩やかにしていけるのかなと、定住が増えるともでは言いませんけれども。川西市としては大和団地とか住宅地がありますが、そこから猪名川町に通おうとすると横移動になります。横移動の交通機関ってというのが今なくて、電車もバスも縦ですので、東西の交通機関がないと。</p> <p>ここを例えばオンデマンドであったり、シェアサイクルであったり、こういった横移動でつないであげると、高齢化で空き家問題が進んでいるニュータウン等々の一つの利便性向上になるというか、空き家対策に繋がっていくことがあるのかなと思っています。情報提供ですけど。</p>
福嶋会長	<p>今のことってすごく具体的な施策になるとと思いますが、市民会議の議論では出ていないですかね。</p>
事務局	<p>特に出てはいませんでした。ただおっしゃっている通りちょうどこれが3年計画なので2021年になるんで。</p> <p>猪名川町さんとも我々携協定を結んでおりますので、連携が図れないかなというのは、具体的にはできていませんが、検討していきたいと思います。合わせてそういった東西を結ぶところがあれば。ここは交通事業者の方とご協力すれば、大きな政策に繋がっていくんじゃないかなってというのは市の中では検討しております。</p>
福嶋会長	<p>ここの計画に反映できる部分はぜひ。いい政策じゃないですか。</p>
事務局	<p>確かに載せられたらいいかなというふうに思っています。</p> <p>ただ、ここに具体的な項目を書くとしたときには、先方の猪名川町さんとの協議がこの計画まで煮詰まらなければ大きな書き方になるかもしれません。そこは引き続き検討します。</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	頭出しだけでも。せっかくと思います。
三坂委員	<p>昨年から空き家対策ナビゲーターということで、ニュータウンの空き家を増やそうという要するに地域で頑張ろうということをして46人、卒業生がありました。</p> <p>それらをもっと活用するというをどこかに入れていって。特に地域で頑張るといふかたなので。やっぱりそこをどっかに設ける必要はあるんじゃないかと思いました。</p>
事務局	<p>空き家対策ナビゲーターをどういう形で。この前も会議があったときに、せっかく講習を受けていただいた方に地域でどういう力を発揮いただけるのか、市民の方々にも認知してもらって、今相談できるような形にはどうすればいいのかっていうことも含めて検討しております。</p> <p>ただ、今の段階で申し訳ありませんが、そこが実は空き家対策の のですね、民間事業者等の「等」でくくらせてもらっています。</p> <p>その連携をしながら、何か対策を打ちたいという思いは、市としても、思っておりますので、また次の原案のときには具体的に示せたらというふうには考えております。</p>
福嶋会長	「等」に込めた想いというのは書いた人しかわかりませんのでぜひ市民にわかるように。
三坂委員	要望としては、入れてほしいです。
会長	<p>よろしくお願いします。</p> <p>それでは重点施策4をお願いします。</p>
事務局	<p>愛着を持てるまちづくりということで本市には、歴史文化自然など様々な特徴があります。</p> <p>これは必ずしもではありませんが、市民会議の中でも引っ越してきたときに、いわゆる川西市のよさをわかるような部分をもらえなかったし、どういふところが川西の魅力かというのが、市民会議に出て初めてわかったというような声もありまして、転入者の方とか若者には川西の良さが十分に伝わっていない現状があるのかなというふうに考えております。</p> <p>それを我々が川西のよさとかいろいろ行っている行政サービスをしっかり伝えていくと同時に、住民同士がまちの魅力を共有できるような形をし、市民が川西市は良い町だねというふうなことで愛着が持てるまちづくりということでさせていただきました。</p> <p>現状の課題でございますが、先ほど来出ております。</p> <p>これは川西市の魅力支援の市民の方々につなげていく情報発信だけなら全体関わってきますけれども、こういう部分もしっかりわかりやすく伝えるというところが課題だと考えております。</p> <p>市民が必要としているところと市が知って欲しい情報が十分に届いていないというのが本当にこの市民会議を通して、はっきりとわかってきたと</p>

発言者	発言内容等
	<p>いうふうに考えています。</p> <p>このあたりが課題で、さらに我々のほうとしては逆に市民の方々のほうがより身近な場所、魅力を知っておられる方が多いなっているのも気づきでありました。</p> <p>我々も市の魅力は当然大事にしていけないといけません住民の方々の魅力っていうのを我々も共有させていただく、或いは市民同士で共有いただくようなところも課題かなというふうに考えております。</p> <p>重点戦略でございますが、まずこれはどの政策にもかかわってくる情報発信の部分に掲げている部分と、地域資源・人的支援ということで、先ほど来出た地域資源に加えて、川西出身の方、或いは川西市に関わっている方々の協力をいただくというのもすごく大事なことであろうというふうに考えております。</p> <p>そのあたりであるとか、市民が今回市民会議で活動いただいた部分を引き続き活動いただく支援の仕組みも考えたいということで、重点戦略に掲げさせていただいたというような状況です。説明は以上でございます。</p>
福嶋会長	はい、ありがとうございました。では委員の皆さんお願いします。
上村委員	<p>冒頭の文章ですね。</p> <p>意味があまりとれないです。</p> <p>『本市には歴史や文化、自然など様々な特徴がありますが、住宅都市として発展した経緯があり、転入者や若者をはじめとした市民に川西の良さが十分に伝わっていない現状があります』ということですけど。</p> <p>これは住宅都市として発展した経緯があることが川西の良さを十分に伝えてない原因になっているかどうかっていうのが多分それはそういう読み方ではないと思うので。</p> <p>おそらくこの『住宅都市として発展した経緯がある』は取ったほうがいいと思います。</p> <p>もしくは付けるのであれば、冒頭につけて「住宅都市として発展した本市には…」というふうにつなぐと、文書がより改善できると思います。</p> <p>以上です。</p>
福嶋会長	そうですね。具体的な文章を提案していただきましたので、よろしくお願いいいたします。
伊藤副会長	<p>今の話とつながるところですが、このリード文だけ読むと「歴史文化自然といった特徴のいい面がうまく伝えられていない、それは情報発信に問題がある」ということになると思うのですが、これは文化歴史にかかわらず、すべての分野において今回同じことが言われていて、ここで一番言いたいことは何なのかがわからない。</p> <p>文化歴史の魅力をもっと伝えたいということをお願いしたいのか、行政がやっていることが市民に伝わっていないからその共有をしたいっていうことが言いたいのか。</p> <p>テーマが『愛着を持てるまちづくり』になっている。これは情報発信でも</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>文化歴史でもなく、概念的な話になってきている。どれが一番言いたいことなのでしょうか。</p> <p>まず『愛着を持てるまちづくり』にしたのは、基本的な考え方にもありませんけども、川西市で住んで、或いは育って例えば地域のお祭りがあってそういう場所にいて、それが何かこう、自分自身の中での川西市の愛着に繋がるようなまちにしたいといったもの。</p> <p>買い物できるとか多いとか、或いは働けるところがあるとかってということじゃなくて、何か生活している中で、学校行事であり地域イベントなり、或いはこういう文化歴史を訪ねたところがすごく川西の良さだなんていうふうに思ってもらいたいなというところで『愛着を持てるまちづくり』にしました。</p> <p>それを実際に伝えて、こういう場所がある、こういうことがあるっていうのを伝えないとなかなかこう市民の方にはわからないんじゃないかなということで、情報発信が前に出てしまっている感じはあると思います。</p> <p>ベースとしては川西の何気ない訪れた場所、或いは住んでいる場所、ないか特産になっていることが一つの川西市の愛着に繋がっているような施策をうちたいというところでこの政策をまとめたところです。</p>
伊藤副会長	<p>実際には、おそらくこの愛着という言葉は、4班の提案書の最初の文中に「誇りや愛着をこれまで以上に持っていきたい」という言葉があるのでそこから引っ張ってきているのかなと思うのですが、情報発信のこともこの文化歴史について今まで全然知らなかったからこんな魅力あるということ気づいたので、これを自分たちも伝えていかなくはいけないというところから引っ張ってしているように思います。</p> <p>ここから先は私がコーディネーターをやっていたのでほかのテーマと、情報量の違いがあるから公平性に欠けるかもしれませんが、多分今の部分は本質的なところではなく、本質的なところは「こんなに価値のある川西なんだ。文化や歴史という側面において価値がある」ということが、4班のメンバーが伝えたかったことです。それが今まで伝わらなかったのも、その手段として情報発信をしなければいけないし、その延長線上に、愛着の持てるまちになるのではないかというのが、議論として伝えたかったことだと思います。</p> <p>情報発信については他の分野でも同じように言われていたから、それを一般化して、やっぱりどの分野についても同じことを言われてるから、それを特別に出すということが一つの判断としてあると思います。</p> <p>今の話のようにここは両方が入ってしまっているけれども、重点戦略などを見ていると情報発信を中心に書いていると思います。</p> <p>そうなってくると、公正さに欠けますけど、4班で議論していたこと、本当に伝えたかったことが入っていないように感じてしまいます。</p>
福嶋会長	<p>ここに横断的な情報発信を書くというよりも歴史とか文化とか、或いは産業のほうが。</p> <p>そういう情報発信ということをここで、ちゃんと書いて、そういう意味で歴史とか文化とか特産物に愛着、好きになるっていうことで。</p>

発言者	発言内容等
	<p>子育ての問題の情報発信のところで括弧はやっぱり無理があって。それはそれで子育てのところにちゃんと移す。そこで書くってということでしょうかね。</p>
伊藤副会長	<p>それぞれのツールとして情報発信があると思います。</p>
事務局	<p>そうですね。順番も含めてですけど、愛着を持てるまちづくりの重点戦略のうえに情報発信がきてしまっていて。あたかもこれをするのは情報発信がまず1番目だ、みたいな印象を与えかねないので、全体的に政策にも確かにこの情報発信が大切な部分もございますので。愛着を持っているときにこの地域支援文化とか歴史とかそれ以外の部分も含めて、情報発信をどういう形で各政策に掲載するか全体を見ながら検討させていただきます。</p>
福嶋会長	<p>子どもが最初に来ているので、子どものところで書いて、すべてに共通するみたいなやり方もあるかなと思うのですが。 最後に全部まとめてというのは、流れとして合わないと思います。 その辺検討していただくということをお願いします。</p>
三坂委員	<p>まず情報発信でいくなれば、川西市さんのフェイスブックを見ると、2,200件の「いいね」で、あとほかに民間でやっている川西市を盛り上げよう会3,800件。川西市ファンによる兵庫県川西市魅力発信1,200件というようなことで。例えば川西市を盛り上げよう会、これは多分不動産会社の方がやっていると思うのですが、非常にイベントとかがあって私も非常に参考にして川西市って魅力があるなというのがあります。 もっとうこういった民間の頑張っているところを利用するのは非常に有意義だと思います。</p>
福嶋会長	<p>それをどこにどの項目にどう入れるかも含めて検討していただくってことですね。</p>
山本委員	<p>重点施策4だけじゃなくて、全体に関わる場所ではありますけども、やっぱり初めに総合戦略と総合計画のところでも図が必要という話があったんですが、すべてを俯瞰できるような図があったほうがいいと思いました。 その中で、さっきの情報発信も含めると、図があると重点政策が1~4まで末端に来ると思うのですが、どこか全体に関わる場所に情報発信という課題もあって、そこに至るまでに市として認識する課題と、市民会議から出てきた提案、1班から5班みたいなのが、矢印が色んな班からこの重点政策4にきましたよ、とか全体をまとめるような図があれば、わかりやすいのかなというふうに思っていました。</p>
福嶋会長	<p>そうやって工夫してもらえば情報発信もあるというのが図で示せるかもしれません。</p>
城南委員	<p>今のご発言で触発されたんですが、今おっしゃっていたのは、市民会議で</p>

発言者	発言内容等
	<p>提案されたことと、ここでまとめている総合戦略との関係性を図示していただけならわかりやすいんじゃないかというご提案だと思いますけれども、それも非常に大事です。触発されたのは、今度はこの4つの重点政策同士がですね、どう「幸せを実感できるまち」であるとか、川西のよさを大切にした新しいまちに効いてくるのかというのを、矢印なのかわかりませんが、関係性が図示できれば、すごくわかりやすいかなっていう気がして。情報とか他の項目でくくれるものがあるかもしれませんけれども、そういうことをいっぺんチャレンジしてもらえたらありがたいなと思います。</p>
福嶋会長	<p>山本さんが今発言されたのは、4つの重点政策の関係とかそういうものを図にしてってということですよ。最初は、総合計画とかの関係ですか。</p>
山本委員	<p>そうですね。 具体的に城南社長がおっしゃったような、私は政策の1から4にどう帰結するかの関連性がわかったらと思ったんですけども。 総合計画と市民会議との関連とかで。いまおっしゃったのは、その重点政策から更に、やりますよってというのが政策で、さらにそれは何かを実現するための政策であるので、その1から4がどう絡み合っ、その終着点というか、まとまったところに愛着を持てるまちづくりがあるとか、愛着を持るとか、住むと暮らしやすいという概念ができるのかなと思ったので。全部ひっくるめて上手く。あればいいのかなというふうに思いました。</p>
福嶋会長	<p>重点政策4つのお互いの関連性とか、それがどう絡み合っているのか、みたいなことですね。</p>
城南委員	<p>また今の発言を聞いて触発されたんですけども。 3つのカテゴリーですね、そうすると。1つは、市民会議で出てきた提案がこれにどうリンクしているかということ関係性ですね。その図示は非常にわかりやすいと思います。 それから2つ目は、それぞれの重点政策が重点施策のテーマに、どうその施策が効いてきているのかというのを図示したら重点施策で1つの図。2つ目でも1つの図というように4つの図ができる、これが2つ目のカテゴリー。3つ目のカテゴリーはその重点施策1から4までがもとのテーマにどう効いてくるのかというのを図示されていたら、関係性が非常に整理できてわかりやすいし、今どこの話をしているということも示しながら、話ができるのでずれないのかなと。そんな気がしました。</p>
福嶋会長	<p>最初にあった総合計画と総合戦略の関係性も含めると4つってことですね。おそらく分けたほうがいいと思います。今おっしゃったように。時々、1つの図に全部入れ込む人もいるけど、作った人しかわからないようになるので。やっぱりここはカテゴリーごとにちゃんと作ってやったらいいなと思います。チャレンジをよろしくお願いします。</p>
伊藤副会長	<p>関連するところでいくと、なぜこの4つの政策になったのかというつなが</p>

発言者	発言内容等
	<p>りは一行でも入れることが必要だと思います。</p> <p>もちろんこれは総合戦略が重点戦略の政策なので網羅性ではないと理解したうえで、ですが。これも書いた方がいいかもしれません。</p> <p>その中で、市民会議の議論を踏まえてこの4つだというところが、最初にあり、それが結果的に、図示もつながるのではないかと思います。</p> <p>先ほど福嶋さんに整理をしていただいて情報発信の部分が一般の情報発信ではなくて、文化歴史というテーマだというふうに、もしくは特産品という整理をした前提であるのですが、そのときにこの項目の中で出てきているのは、川西かるたの活用で歴史を楽しく学べるということか清和源氏をイメージ統一したデザインの話が主に書かれていると思います。</p> <p>市民会議の他班の提案書を原案と突合していたのですが、2・3・5班についてはほぼすべて何らかの形では取り上げられています。ただこの取り上げられ方はこの重点戦略とか取り組み内容に全部入っているということではなくて、どこかしら一部入っているという意味です。1班については、実は4つの項目のうち、1項目のみ入っています。</p> <p>1班で一番提案の子育てからシニア世代の働き方はかなり細かく書かれています。2～4は入っていません。</p> <p>ただ、ここは若干前回の議論もあって、そもそもそれがいいのかどうかという話はあったと思います。</p> <p>その上で4班を見たときに、項目4つある中ですね、多分提案1と4が入っていると思います。</p> <p>提案1と提案4のところが入っていて、今ある歴史文化資源の活用の仕方とか、民間企業具体的に三ツ矢サイダーとの連携や、文化施設1個で見るのじゃなくて全体でストーリーを作ろうというようなところの提案については、多分入ってないと思います。</p> <p>今私が言っているのは2つあって、入っているかどうかの確認と、決して全部入れなくてはいけないってことを言いたいのではなくて、取捨選択があったということであれば、少なくとも11月30日の市民会議で、取捨選択をしたこと理由は伝えなくてはいけないのではないかと思います。</p>
福嶋会長	<p>三ツ矢サイダーについてはここを愛着にしぼったら入れられる可能性があるのかなと思いましたがけれどもいかがでしょう。</p>
事務局	<p>確かに三ツ矢サイダーとかいろいろ文化財的な部分もここに具体的に書けていません。</p> <p>ただ実際にはアサヒ飲料さんとも実際には連携していますから、事業担当課とも含めて愛着というところで、この市民会議の意見も踏まえながら、戦略取り組み内容は一度中で検討させていただきます。</p> <p>文化歴史非常に議論いただいているのはやはり我々が考えているより市民の方々がそういうところを、誇りを持っておられて大事にされているというのが認識した部分と、一方、他で話たとき歴史文化っていうのがなかなか出てこなくてですね。</p> <p>それが戦略として書き込む作業のときに正直議論なっただけというのは事実で、それを踏まえてこんな形だったという経過はございます。</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	では一度考えていただくようお願いいたします。
城南委員	<p>マンパワーも限られているし時間も限られているし、それから整備が整っているかどうかにも限られているんで。</p> <p>もしその歴史文化っていうのであれば、この3年間は例えば源氏でいこうとか。次の3年間はここを整備していこうとか。</p> <p>川西市の持っているものを全部アピールしていこうと思ったらパワーが分散されるので。やがて全部するけどもそこに優先順位をつけていきたいと思いますとか順位をつけていきたいと思いますとかという考え方はいるような気がします。</p>
伊藤副会長	その議論は市民会議でもまさに出ていたんで、仮にそれが入ったとしても操作にはならないと思います。
福嶋会長	三ツ矢サイダーと源氏とのつながりがあるわけですよ。そういうストーリーで次に取り組みはっていうようなこともできるかもしれない。
伊藤副会長	これも11月30日の件ですけど、1班は今の話でいくと、本当に落としているような気がするんですよ。
事務局	<p>一つ目の働き方について入れさせていただいています。</p> <p>二つ目の農業の部分は、今の川西の現状では農業という部分よりも、特産品がございますから、そこに重点を当てながらという意味で農業を絞ってはどうかということで、それが4つ目の政策にまとまっていますので場合わかりづらいかもしれませんが。</p> <p>それから表現の仕方とか伝え方というのは検討させていただきます。</p> <p>集客施設については、実際に1班からも市民からとか事業者からの発案のイベントっていうのがあったときには、我々がそういう何かの形で支援を考えてるので。そういうふうな形でのバックアップになるのでこの3、4、もなかなか戦略には歌っていけないかなというような説明をさせてもらったらと思っています。</p>
福嶋会長	説明責任はしっかりよろしくお願いします。
山本委員	<p>説明責任プラスその説明されて、やっぱり明文化してここに載せていただきたいなというふうに思います。</p> <p>それぞれこの項目が載せられなかったっていうのは必要ないと思うのですけれども。これを載せて会議の1～5班のやつを載せて口頭では、説明をしたけど文言が入ってなかったら、やっぱりパブリックコメントを出したときにばーっと来る可能性もあると思うので。</p> <p>その辺の明文化というところも必要かなというふうに思います。</p>

発言者	発言内容等
城南委員	<p>僕は優先順位だと思います。</p> <p>うまく伝えていけばいいと思う。要はこの3年間でやるべきことっていうのはこれだと。</p> <p>今回これは入ってないけれども、しないわけじゃなくて、それは次の段階でやるとかですね。</p> <p>これは4年後に生きてくるとか5年後に生きてくってことが、発言者に伝われば皆さん理解してくれると思いますけどね。</p>
福嶋会長	<p>優先順位はすごく大切だと思います。また、優先順位で逃げたら駄目だと。例えば集客施設とか、企業誘致というのは優先順位で逃げる話ではなくて、本当にそれがいいのかっていう議論はちゃんとしないといけない。</p> <p>ただそれはそういうまだまだ議論をする必要があるみたいなことをきちっと言えばいいと思うのです。優先順位自体はとても大事な話なので。そこで言える事は優先順位として。</p>
事務局	<p>確認ですが1個1個の提案について出せなかったという理由を示した方がいいというご提案でしょうか。それとも全体的な...</p>
山本委員	<p>全体的にとということです。</p>
福嶋会長	<p>よろしいでしょうか。時間超過してしまいましたが、事務局よろしく願いします。</p>
事務局	<p>みなさまどうもありがとうございました。</p> <p>次回の川西創生総合戦略推進会は12月3日の火曜日、14時からを予定しております。</p> <p>記事と詳細が決まり次第皆様にご連絡差し上げます。</p> <p>それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>